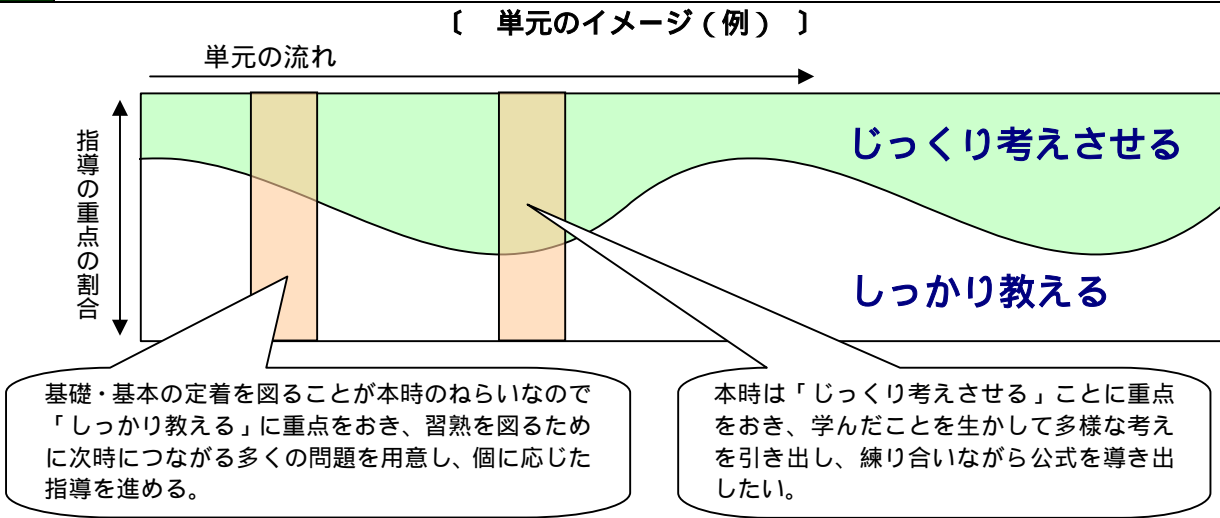


学力向上は日々の授業の充実から

～ 分かる喜びや、考える楽しさを実感させる授業をめざして ～

みやざきスタイルの算数・数学の授業
「 しっかり教える じっくり考えさせる 」 授業を

ポイント 1 単元全体の中で、「しっかり教える」内容と「じっくり考えさせる」内容を意識して指導計画を立てる。



ポイント 2 1時間の授業で、ねらいを明確にし、めりはりのある学習過程を工夫し、ねらいの達成状況を確認に見届ける。

授 業 で 心 が け た い こ と	
導 入	<p>ねらいを明確に</p> <p>学習課題（問題）やめあてなどを黒板等に分かりやすく示す。</p>
展 開	<p>めりはりをつけて</p> <p>「しっかり教える」「じっくり考えさせる」のどちらに重点をおいた授業なのか、学習方法や時間配分を考えて学習過程を工夫する。</p> <p>問題解決的な学習過程を固定的にとらえるのではなく、ねらいに応じて柔軟に設定する。</p> <p>ねらいに応じた算数（数学）的活動を適切に位置付ける。</p> <p>自力解決の場面と学び合いの場面を設定する。</p> <p>本時の学習のまとめを黒板等に分かりやすく示す。</p>
終 末	<p>ねらいの達成を確実に見届けて</p> <p>定着・発展問題などを行う時間を確保する。</p> <p>学習内容や学び方を振り返る場を設定する。</p>

すべての領域で、「算数（数学）的活動」を通して指導する。

算数（数学）的活動とは...

児童(生徒)が目的意識をもって主体的に取り組む算数(数学)にかかわりのある様々な活動(営み)

例えば、こんな活動を...

数量や図形について

- ・ 比べる
- ・ 見付ける
- ・ 作る
- ・ 式や図や表に表す
- ・ 考え説明する
- ・ 性質や関係を調べる（見いだす）
- ・ 根拠を明らかにし、筋道立てて説明し伝え合う

算数（数学）的活動として、作業的・体験的な活動や具体物を用いた活動が挙げられることが多いのですが、そうした活動に限られるのではなく、考える活動や、考えたことなどを表現したり、説明したりする活動も算数（数学）的活動に含まれます。（言語活動に関する指導の充実）

算数（数学）的活動は、数量や図形の意味を実感をもってとらえたり、思考力、判断力、表現力等を高めたりするとともに、算数・数学を学ぶことの楽しさや意義を実感できるようにするために取り入れるものです。

自力解決と学び合いの場面の役割を明確にし、考えさせることを焦点化する。

自力解決の場面

すべての子どもが 自分なりに課題解決に向かう時間

何をどのように自力解決させるのか、明確な指示と、一人一人の状況の把握がポイント。

（具体的な活動例）

自分の考えをもつ

自分の考えを表す

（言葉・数・式・図・表などを用いて）

自分の考えの説明の仕方を考える

分からないこと、解決すべき点に気付く



学び合いの場面

集団思考（ペア・グループ・全体）によって、すべての子どもが分かる時間

考えを深め合い、課題を解決するための発問がポイント。（根拠・比較・関連付け・ゆさぶり等）

（具体的な活動例）

他の考えにふれ、理解を深める

多様な考えを比較・検討し、共に課題を

解決する

重要なことがらを共有する、まとめる

他の視点で自分の考えをふりかえる



分かる喜びや、考える楽しさを実感させる授業づくりを

1時間1時間の授業で、学び方や学習技能を身に付けさせる。